



平成 18 年 10 月 27 日

各 位

会 社 名 オリンパス株式会社
代表者名 取締役社長 菊川 剛
(コード番号 7733 東証・大証第 1 部)
問合せ先 経理部長 川又 洋伸
(TEL. 03-3340-2111(代))

中間期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 5 月 10 日の決算発表時に公表した平成 19 年 3 月期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）の中間期業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

I 連結業績予想の修正について

1. 平成 19 年 3 月期中間連結業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日）
(単位：百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	中間純利益
前回発表予想 (A)	485,000	26,000	18,000	10,000
今回修正予想 (B)	485,000	42,000	31,500	19,000
増減額 (B - A)	-	16,000	13,500	9,000
増 減 率	-	61.5	75.0	90.0
(ご参考) 前中間期末実績 (平成 18 年 3 月期)	476,272	16,637	8,926	2,169

(参考) 1 株当たり予想中間純利益 70 円 27 銭

(注) 平成 18 年 5 月 10 日の決算発表時に中間営業利益（前回発表予想 (A)）は公表していませんが、今回修正予想 (B) との比較性を確保するため、営業利益も併せて記載しています。

2. 修正の理由（連結）

売上高は主要事業の映像事業、医療事業及びライフサイエンス事業がいずれも好調で、前回発表予想の売上高を達成する見込みとなりました。

利益面では、映像事業及び医療事業の新製品が収益性の向上に寄与し、営業利益は前回発表予想を大幅に上回る見込みとなりました。これを受けて、経常利益及び中間純利益も前回発表予想を大幅に上回る見込みとなりました。

II 業績予想（単独）の修正について

1. 平成19年3月期中間業績予想数値の修正（平成18年4月1日～平成18年9月30日）

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益(△損失)	経常利益	中間純利益
前回発表予想（A）	47,000	△5,000	1,500	5,000
今回修正予想（B）	50,500	△1,500	8,000	8,000
増減額（B－A）	3,500	3,500	6,500	3,000
増減率	7.4	-	433.3	60.0
（ご参考）前中間期末実績 （平成18年3月期）	44,415	△3,780	4,171	4,051

（参考）1株当たり予想中間純利益 29円59銭

（注）平成18年5月10日の決算発表時に中間営業利益（前回発表予想（A））は公表していませんが、今回修正予想（B）との比較性を確保するため、営業利益（△損失）も併せて記載しています。

2. 修正の理由（単独）

売上高は主要事業のライフサイエンス事業において販売が好調であったことにより、前回発表予想を上回る見込みとなりました。損益状況では売上増加による影響に加え、経費の削減に取り組んだ結果、営業利益・経常利益・中間純利益共に前回発表予想に対して大幅な増益となる見込みとなりました。

III. 平成19年3月期業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）について

平成19年3月期通期の連結決算及び単独決算業績予想については現在集計中ですので、11月7日（予定）に実施します中間決算発表時に公表いたします。

以上

【注意事項】

上記の業績予想については、本資料の発表日現在の入手可能な情報に基づいています。将来に関する世界経済・競合状況・為替変動等にかかわるリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。